



公益財団法人 日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE

承認番号 : NN-5-30 小学生の部
NN-5-33 中学生の部

中日スポーツ杯 第18回 日本少年野球 中日秋季大会



日程 : 令和5年10月15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)
予備日29日(日)

●使用球場

カヤバスタジアム
新城総合公園野球場
豊川スポーツ公園野球場
あさぎりスポーツ公園野球場
岐阜ファミリーパーク野球場
上石津ふれあいグラウンド
プリニーの野球場
輪之内アポロスタジアム
中山公園野球場
岡崎レッドダイヤモンドスタジアム
岡崎中央ボーイズ専用田口グラウンド
三河一宮球場
保戸島グラウンド
みずきグラウンド

●後援

岐阜市・同教育委員会
大垣市・同教育委員会
各務原市・同教育委員会
可児市・同教育委員会
下呂市・同教育委員会
輪之内町・同教育委員会
中日新聞社 中日スポーツ

●主催

(公財)日本少年野球連盟

●主管

(公財)日本少年野球連盟 中日本ブロック
(公財)日本少年野球連盟 愛知県東支部
(公財)日本少年野球連盟 岐阜県支部

●協賛

ワールドペガサスジャパン株式会社
ゼット株式会社
ミズノ株式会社
株式会社 フォトクリエイト
株式会社 P&P浜松
仕出し割烹 菊水
株式会社 しげ
岡崎信用金庫
サンモク工業株式会社



公益財団法人

日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE

野球をしながら
団結・友愛・規律・勇気・忍耐
を身につけよう

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の練磨とスポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んずる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田敏和

〔本部〕 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号

南海日本橋ビル2F

TEL 大阪 (06) 6649-0061

ご挨拶



公益財団法人 日本少年野球連盟
会長 惣田 敏和

中日スポーツ杯 日本少年野球 第18回中日本秋季大会が、中日本ブロックに所属する小学生の部の全チームと予選を勝ち抜かれた中学生の部32チームがカヤバスタジアムで一同に介し盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は正に中日本ブロックのナンバーワンを決する大会であり、所属支部の垣根を超えて競い合うこととなります。

対戦経験のないチーム同士の組み合わせを通して、自分達に不足しているところや優っている一面が見えることもあるかと思えます。

お互いに欠けている部分を吸収し合うことで、更なる成長の肥やしとしていただけることを願います。

ボーイズリーグの野球は勝つことだけを求めているのではなく、野球というスポーツを通して選手個々の人格面における成長を目指し、指導者はそれを補佐する責任を負うというのを基本理念として活動している組織です。

選手の皆さんは日頃の練習で培った持てる力の全てを出し切ることで、指導者や応援してくれるご家族を始めとする全ての方々に感謝の気持ちを示してください。

負けた悔しさから学ぶことも勝った喜びから学ぶ事も沢山あるのが野球というスポーツの素晴らしさです。

本大会を全力で競い合ったことが、選手の皆さんにとられて生涯を通じての良き思い出の一コマになられるよう祈念いたします。

最後になりましたが、ご後援を賜ります中日スポーツ様、岐阜市を始めとされる行政様、連盟指定業者様、大会を主管運営して頂く岐阜県支部関係者の皆様と審判員の皆様に心より感謝と敬意を表し、私の挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



中日新聞社 中日スポーツ総局
総局長 齋田 太郎

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

今年はボーイズリーグ中日本ブロックにとって画期的なシーズンとなりました。春季全国大会で愛知県中央支部代表の東海中央ボーイズが初の日本一に輝きました。また、夏休みに豊橋市を中心に開かれた世界少年野球大会では、地元の中日本ブロック選抜チームが並み居る強豪を打ち破って世界一になりました。みなさんも大いに盛り上がり、勇気づけられたと思います。

今大会は、中学生の部は8月から新チームに切り替わり、各支部の予選を勝ち抜いてきた強豪ぞろいの代表チームがしのぎを削り合い、小学生の部のみなさんは4月の新チーム結成から半年がたち、夏の厳しい練習を経てプレーにたくましさが増してきたと思います。自身のプレーを信じてより高いレベルを目指してください。練習でつちかった成果を存分に発揮し、中日本ブロックの頂点を目指して最後まで精一杯プレーしてくださることを祈っております。

この大会で得た貴重な体験は将来、みなさんが立派な社会人となってからも、懐かしくよみがえることでしょう。中日スポーツはみなさんの活躍ぶりを紙面を通じて応援しています。ご健闘を期待しています。

大会役員

大会名誉会長	藤田英輝	大会総務	高村治
大会会長	惣田敏和	大会顧問	大富肇
大会副会長	工藤眞一	〃	岡陽一
〃	斎田太郎	〃	飯田研二
大会特別相談役	堀内健	〃	吉岡正人
大会委員長	松本行弘	大会審判長	白谷忍
大会副委員長	伊藤裕章	大会副審判長	小川潔
〃	榑原隆宏	大会審判員	本定敏夫
〃	杉浦真一	〃	堀利行
〃	伊藤大輔	〃	高林俊光
〃	松尾勝	〃	丹羽剛
〃	藤本善一	〃	神田和郎
大会運営委員長	富田敏正	〃	山田和雅
〃	澤田和尚	〃	吉村新悟
大会運営副委員長	山西祥夫	〃	中川昭
〃	寺島政夫	大会審判事務局	木崎勝弘
〃	矢田正行	中日本ブロック各支部審判員諸氏	
〃	東亜行	大会運営委員	石川卓
〃	渡会武則	〃	星野直之
〃	三林隆道	〃	鈴木将
大会企画運営部長	松尾勝	〃	大竹香太郎
大会行事委員長	伊藤大輔	〃	石川孝信
大会行事副委員長	太田英孝	〃	植地一喜
大会事務局長	山本治夫	〃	大西雄児
大会副事務局長	千田知弘	〃	大森啓介
大会事務局	丹羽英之	〃	大野秀一
〃	牧野寛央	〃	大橋和博
〃	奥田浩二	〃	小澤淳二
〃	大暮和幸	〃	葛西勉
大会IT委員長	杉浦真一	〃	国枝義孝
大会広報委員長	藤本善一	〃	高木勇人
大会広報副委員長	星野忠啓	〃	田中秀治
大会広報委員	伊東敬晴	〃	津田明春
〃	岡本昌久	〃	仁田野健太
〃	青木幹樹	〃	宮部恵介
〃	岡本和男	〃	宮部博幸
〃	杉山淳	〃	若狭洋玄
大会会計	澤田和尚	〃	武藤善彦
〃	牧野義人	〃	大浦正彦
〃	河村代之	〃	今田陽士
〃	渡邊誠	〃	
〃	足立修身	〃	

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会規定

- 1 チームの登録選手は11名以上25名以内とする。但し、ベンチ入りは20名以内。
- 2 出場選手は本大会登録締切日現在において連盟へ登録済みの者に限る。
- 3 審査証は当年度発行のものに限る。
- 4 オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。
- 6 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表を5部審判部に提出しなければならない。
- 8 オーダー表交換時に監督、審判員立会いのもと両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 9 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。

10 試合方法など

中学生の部

- (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回終了時(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は、4回表終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)

小学生の部

- (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)

11 中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
- (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- (7) ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- (1) 1日最大70球とし、連続する2日間で105球以内とする
3連投(連続する3日間)は禁止とする。
- (2) 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可とする。
- (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) ボークは投球数としない。
- (5) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

共通事項

- (1) ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間登板した事とする。
また、1試合のみ当番した場合は、1日の投球とする。
- (2) 小学生に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分顧慮すること。
- 12 (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の合計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
- (2) 守備の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールへの運用についての確認は認める。
- 15 監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17 ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付ヘルメットを着用すること。
- 20 各チームが同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。
- 21 ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23 グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24 ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25 光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 26 令和5年5月8日連盟発出 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守すること。

参 考

野球規則7. 01(4)

7. 02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の

攻撃が終わらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

【タイブレーク実施細則】

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チーム及び個人記録

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点としない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

野球用品は、すべて連盟指定業者のものを使用することが義務付けられています。

「中学生投手の投球制限ガイドライン」の適用例

1, レギュラーの試合での登板は下記のとおり制限する。(3年生以下)

- (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止とする。
- (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
- (7) 申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする

2, ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。

また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

3, 練習中の投球数は1日70球以内、週350球以内とする。

また、週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事。

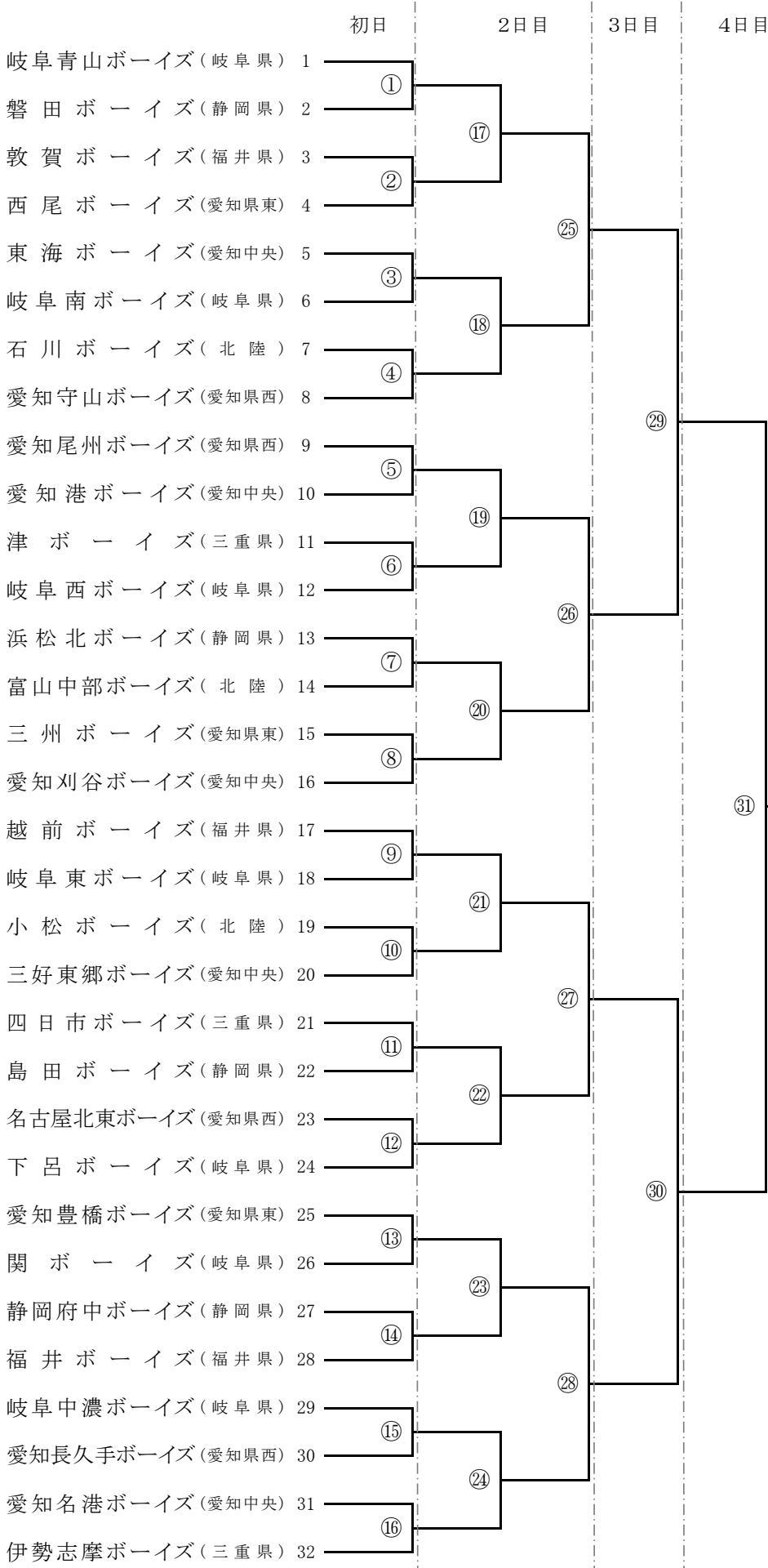
	第一日 目	第二日 目	第三日 目	第四日 目	第五日 目	第六日 目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板していき連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※ 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場きる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	0 40	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は次の日は投手・捕手として出場できない。1日目、2日目、5日目の第2試合においては、“打者途中で制限数を迎えた場合のみ”打者終了まで投げて球数(40以上)はカウントしない。
投手H	40 40	40 休	休	40 0	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。 1日目の1試合目、4日目の1試合目、5日目の1試合目は1日の投球数の上限数に達していないため、「打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。」は適用しない。

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会組合せ(中学生の部)



10月15日

カヤバスタジアム		
第一試合	⑩	10:00
第二試合	①	13:00

新城総合公園野球場		
第一試合	⑪	12:00
第二試合	③	14:30

輪之内アポロスタジアム		
第一試合	⑭	11:00
第二試合	⑥	14:00

保戸島グラウンド		
第一試合	②	11:00
第二試合	⑨	14:00

あさぎりスポーツ公園野球場		
第一試合	④	12:00
第二試合	⑫	14:30

岐阜ファミリーパーク野球場		
第一試合	⑤	11:00
第二試合	⑬	14:00

みずきグラウンド		
第一試合	⑦	10:30
第二試合	⑮	13:30

上石津ふれあいグラウンド		
第一試合	⑧	11:00
第二試合	⑯	14:00

10月21日

プリニーの野球場		
第一試合	⑰	8:30
第二試合	⑱	11:15
第三試合	㉕	14:00

輪之内アポロスタジアム		
第一試合	⑲	8:30
第二試合	⑳	11:15
第三試合	㉖	14:00

中山公園野球場		
第一試合	㉑	8:30
第二試合	㉒	11:15
第三試合	㉗	14:00

岐阜ファミリーパーク野球場		
第一試合	㉓	8:30
第二試合	㉔	11:15
第三試合	㉘	14:00

10月22日

輪之内アポロスタジアム		
第一試合	㉙	8:30
第二試合	㉚	11:15

10月28日

岡崎レッドダイヤモンドスタジアム		
第一試合	㉛	13:00

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会 メンバー表

1 岐阜青山ボーイズ

代表	仁田野 健太	
監督	脇田 友和	
コーチ	大塚 泰造	
マネージャー	板屋 紀孝	
22	主将 和田 康誠	2年
4	田中 琉翔	2年
10	松浪 竜虎	2年
12	安達 晴良	2年
16	尾関 翔哉	2年
21	伊藤 波琉	2年
23	鎌田 恭士朗	2年
24	丹羽 駿太	2年
27	芳賀 洸也	2年
33	貝原 嵩翔	2年
35	片岡 奏太	2年
36	木下 幸咲	2年
40	三島 優晴	2年
43	木村 健汰	2年
44	佐橋 竣也	2年
51	熊崎 陽斗	2年
52	板屋 南杜	2年
55	鬼頭 謙志郎	2年
61	佐曾利 昊太	2年
63	片木 綾馬	2年
73	江間 大翔	2年
85	辻村 春輝	2年

2 磐田ボーイズ

代表	中村 好寛	
監督	吉村 正之	
コーチ	中山 泰成	
マネージャー	齋藤 隆太	
36	主将 磯部 祐三	2年
0	鈴木 琉大郎	2年
1	仲儀 遥翔	2年
4	井本 武	2年
5	長江 慶士	2年
7	榎谷 太寿	2年
9	密岡 大隼	1年
12	松本 侑大	2年
20	鈴木 陽友	2年
27	岡本 行慳	2年
35	安藤 義權	2年
37	杉山 栄	2年
42	大原 聡太	2年
44	青島 涼太	2年
61	稗田 孝太郎	2年
63	大石 悠月	2年
77	内山 樟太郎	2年
96	黒木 陸翔	2年
99	内山 月斗	2年

3 敦賀ボーイズ

代表	梶田 浩二	
監督	小林 洋	
コーチ	森 尚史	
マネージャー	織田 浩二	
17	主将 林 蒼真	2年
1	北野 義勝	1年
3	末友 蓮	2年
4	松井 滉希	1年
5	堀田 悠真	2年
7	古保 勇琥	2年
9	吉本 羅生	2年
12	小室 泰智	2年
16	森 将希	1年
21	豊嶋 旺志朗	2年
22	松田 侑大	1年
31	藤井 遥陽	1年
34	大久保 絆二	1年
38	江口 吏紅	1年
41	馬路 大和	2年
51	西田 絢真	1年
59	川田 晴仁	1年
99	中谷 虎太郎	1年

4 西尾ボーイズ

代表	榊原 隆弘	
監督	岡田 良二	
コーチ	佐橋 康伸	
マネージャー	西原 麻美	
18	主将 杉浦 憂志朗	2年
2	樋口 桔平	2年
3	豊田 吉生	2年
6	高原 永遠	2年
7	田中 奏梓	2年
8	杉浦 虎慈	2年
9	武田 侑大	2年
10	牧 啓悟	2年
11	堀田 桔平	2年
12	河口 マテウス	2年
16	鈴木 達也	1年
17	石川 大雅	2年
19	谷口 遼馬	2年
21	服部 悟大	2年
23	天野 永志	2年
24	小野 暖真	2年
25	竹田 虎太郎	2年
27	中村 翔真	1年
28	神谷 大真	1年
33	吉田 明星	2年
44	犬塚 湊介	2年
73	神谷 隼佑	1年
74	濱田 珀斗	1年
77	杉浦 光志朗	2年
78	徳永 真毅	2年

5 東海ボーイズ

代表	山田 康喜	
監督	小柳津 俊彦	
コーチ	馬場 光成	
マネージャー	山中 太介	
24	主将 神達 大武	2年
4	丹羽 大珠	2年
9	寺川 蒼土	2年
12	岡田 悠誠	2年
14	相澤 草太	2年
15	伊藤 大晴	2年
16	青井 基朗	2年
17	藤野 陽向	2年
19	佐藤 袖介	2年
25	野津 俊介	2年
28	高辻 大翔	2年
30	岩永 虎凱	1年
32	長谷川 瑛人	2年
34	毛受 銀	2年
35	長南 爽斗	2年
39	高橋 健竜	2年
40	山中 礼	2年
42	亀井 創太	2年
43	尾崎 壮治朗	1年
44	江崎 佑人	2年
46	小深田 翔馬	2年
51	松本 鈴汰	2年
55	安井 大和	2年
56	浜島 匠	2年

6 岐阜南ボーイズ

代表	青木 幹樹	
監督	吉川 好	
コーチ	守屋 毅	
マネージャー	岩田 克彦	
3	主将 赤堀 真聖	2年
2	岩田 知大	2年
5	竹内 大介	2年
7	小野木 悠人	2年
9	森 仁	2年
15	澁谷 美輝	2年
19	水谷 悠馬	2年
20	加藤 獅温	2年
24	浅井 千暉	2年
25	岡部 寛佑	2年
39	川島 吉慳	2年
48	山本 絆仁	2年
57	干場 大誠	2年
58	加藤 光晟	2年
99	篠田 吏玖	2年

7 石川ボーイズ

代表	村山 和光	
監督	山下 靖	
コーチ	加藤 直樹	
マネージャー	田口 竜也	
22	主将 中谷 凜乙	2年
16	浅田 遥斗	2年
17	高木 悠伍	2年
18	櫻井 陸	2年
19	土井 權	2年
20	寺内 陸翔	2年
21	松本 悠翔	2年
23	長谷 悠慎	2年
24	前田 旺吉朗	2年
25	米田 寛太	2年
26	飲 信太郎	2年
27	新出 葵琉	2年
28	金田 宙大	2年
29	松本 一輝	2年
30	高田 晴	2年
31	杉本 一太	2年
33	山崎 和真	1年
34	森田 悠翔	1年
36	戸出 陽太	1年
38	市村 優斗	1年
39	米田 尊	1年
40	竹田 文太	1年
41	丸井 耀翔	1年
42	井上 晃希	1年
43	喜多 隼大	1年

8 愛知守山ボーイズ

代表	池田 一成	
監督	鈴木 賢一	
コーチ	寺澤 和美	
マネージャー	小椋 康史	
12	主将 小椋 裕介	2年
1	鈴木 優吾	2年
6	渡邊 結斗	2年
8	小椋 絆平	2年
10	小森 明日都	2年
13	津汲 史暁	2年
15	岡田 颯	2年
16	田中 健真	2年
18	中山 知洋	2年
27	寺澤 空音	2年
28	三浦 陽遊	2年
29	吉田 文竜	2年
30	吉住 琉	2年
33	高木 琉成	2年
34	岡部 泰士	2年
36	佐々木 康太	2年
39	安藤 寛太	2年
41	和志武 奏	2年
52	高橋 依京	2年
77	岩橋 興世	2年
98	上田 大河	2年

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会 メンバー表

9 愛知尾州ボーイズ

代表	内藤 邦将
監督	藤川 正樹
コーチ	筏井 知良
マネージャー	筏井 知良
13	主将 小林 大雅 2年
1	丹羽 裕聖 1年
4	川井 佑真 2年
5	岡田 莉空 1年
8	山下 奏汰 2年
14	小川 銀士朗 1年
18	梅村 全 1年
20	光田 悠真 1年
21	橋本 彪輝 2年
28	島田 耀 2年
32	山本 寿希也 2年
33	前澤 凱音 2年
36	尾関 颯歩 2年
37	丹羽 絆人 2年
40	板野 煌亮 1年
41	土橋 颯斗 2年
52	玉腰 琉偉 2年
53	早川 湊 2年
54	朝倉 陸 2年
56	島岡 煌 2年
61	杉山 弦太 2年
77	稲垣 翔太 2年
80	竹中 彩人 2年
82	平野 光樹 2年
90	長崎 匠真 2年

10 愛知港ボーイズ

代表	小河 徳和
監督	堀田 将司
コーチ	大須賀 辰郎
マネージャー	糸井川 誠
1	主将 松浦 大悟 2年
2	清水 寛生 1年
3	舟井 蒼裕 1年
4	三輪 琉聖 1年
9	上野 永遠 1年
12	江原 聖海 2年
13	小田桐 綾斗 2年
14	辻 旺佑 2年
15	都築 瑠 2年
16	山崎 優晟 2年
17	白山 詢 2年
18	森田 凜斗 2年
20	玉木 克 2年
23	中村 竜誠 2年
24	日比野 楓真 2年
25	黒澤 武流 2年
27	中村 映斗 2年
29	青木 理仁 1年
31	渡辺 莉生 2年
43	竹内 渉 1年
99	板倉 昇生 2年

11 津ボーイズ

代表	西村 文雄
監督	松本 直也
コーチ	三浦 康弘
マネージャー	北口 孔久
22	主将 渡邊 駿 2年
0	玉置 蓮 2年
1	河合 瑛太 2年
5	矢田 朋希 1年
7	長澤 寛汰 1年
8	松本 球也 1年
13	中川 直太郎 2年
16	渡邊 皇佳 2年
17	岡田 蒼真 1年
18	羽根 琥珀 1年
19	細野 心吾 2年
23	太田 湊惟 1年
24	内山 飛悠吾 2年
26	松井 伶穂 1年
29	長谷川 蓮隼 1年
30	高木 雄大 2年
31	伊藤 大泰 1年
33	宮崎 日向 2年
35	大津 光輝 1年
36	吉井 佑月 2年
37	浅森 来翔 2年
55	下地 遼 1年
56	小林 侑資 2年
65	羽田 蒼一朗 2年
77	中島 一紀 1年

12 岐阜西ボーイズ

代表	石川 孝信
監督	宮川 勉
コーチ	原 誠
マネージャー	中村 朋美
34	主将 千葉 陽仁 2年
0	中村 昶太 2年
2	高木 謙心 2年
4	大橋 春翔 2年
8	鷺見 健太 2年
11	河瀬 亮太 2年
19	速水 裕夢 2年
20	田畑 琉晟 2年
23	松田 琥琉 2年
24	中井 駿佑 2年
29	安藤 龍真 2年
31	高橋 虎士朗 2年
33	古田 瑛大 2年
37	小椋 湊 2年
42	川尻 翔大朗 2年
47	堀 颯天 2年
48	幸田 頼樹 2年
51	中野 陽斗 2年
66	杉原 雅己 2年

13 浜松北ボーイズ

代表	富樫 憲之
監督	山道 伸之
コーチ	鈴木 理男
マネージャー	木村 伸一
38	主将 高橋 瑛人 2年
1	二橋 泰輔 2年
3	漆畑 威吹 2年
4	坂田 景 2年
7	間部 翔太 2年
10	一木 柊哉 2年
12	藤田 彪真 1年
14	小笠原 太一 2年
17	松井 勸太 2年
20	名倉 陸 2年
22	井口 琥太郎 1年
24	前田 信太郎 2年
27	渡邊 健介 1年
32	藤原 海夢 2年
33	安川 凜音 1年
35	鈴木 康和 2年
36	佐藤 悠生 2年
37	加藤 佑来 1年
39	林 朔太郎 2年
40	仲山 航生 1年
41	濱本 亘 2年
46	木村 謙伸 2年
75	堀内 陽登 1年
77	齋藤 颯太郎 2年
89	絵鳩 大河 1年

14 富山中野ボーイズ

代表	野替 隆博
監督	河井 悟
コーチ	中瀬 拓幸
マネージャー	小島 章予
55	主将 中瀬 叶大 2年
0	吉田 玲緒 1年
1	川添 渉 2年
4	土反 悠聖 1年
6	深川 志龍 1年
10	金川 太一 2年
11	外山 隼 2年
12	高田 三輝 1年
17	横山 力 2年
21	河井 絢音 2年
23	元文 颯真 2年
27	道音 丈 1年
28	五十嶋 暁大 1年
29	村上 想芽 1年
30	河原 蓮人 1年
31	吉岡 琉生 2年
33	吉崎 遼 2年
37	三鍋 清乃 2年
39	林 朔太郎 1年
51	池田 奏翔 2年
85	犬嶋 天河 2年
89	五十嵐 優月 2年
99	吉岡 真洸 1年

15 三州ボーイズ

代表	粕谷 浩
監督	竹崎 晴信
コーチ	加藤 友昭
マネージャー	早川 智子
18	主将 鈴木 球斗 2年
00	堂寄 裕雅 2年
1	小椋 剛聖 2年
3	犬塚 剣次郎 2年
5	山下 岬希 2年
6	加藤 佳希 2年
8	松田 侑大 2年
9	金子 拓斗 2年
12	上原 江琉人 2年
17	堀脇 孝介 2年
21	上原 光陽 2年
22	手島 章秀 2年
25	辻 瑛太 2年
26	新井 涼大 2年
28	三橋 龍太 2年
33	殿内 旺希 2年
44	野口 紘 2年
86	高須 晴也 2年

16 愛知刈谷ボーイズ

代表	鈴木 直実
監督	佐川 浩司
コーチ	西々木 貴志
マネージャー	市川 孝幸
39	主将 森 悠陽 2年
1	竹下 健斗 1年
3	福留 佑星 1年
10	細谷 真大 1年
12	山下 大雅 1年
17	坂井 優真 1年
27	前畑 翔輝 1年
30	平岡 朱雅 2年
31	北村 優磨 2年
32	越村 正 2年
33	藪本 稀星 2年
34	永井 英多 2年
35	木村 篤紀 2年
36	石本 優樹 2年
37	伊藤 虎太郎 2年
38	渡邊 優美 2年
41	山中 壮介 2年
42	兼井 飛羽 2年
44	三浦 海人 2年
47	近藤 健太 2年
49	菊地 極天 2年
51	井上 健史 2年
53	西村 駿汰 2年
55	橋本 宗介 2年
56	堀江 琉斗 2年

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会 メンバー表

17 越前ボーイズ

代表	近藤 正明	
監督	河井 康孝	
コーチ	近藤 慶朋	
マネージャー	小原 有美	
39	主将 細田 樹暉	2年
2	玉村 弘季	2年
4	山田 樹誠	2年
5	高山 健心	2年
6	金子 瑛多	1年
9	堀田 稟太郎	1年
12	見延 徠澄	2年
14	入井 煌斗	2年
16	山下 力輝	2年
19	北畑 大和	1年
20	牧田 怜治	2年
21	小原 琉聖	2年
22	野崎 泰河	2年
24	梅田 羅生	2年
25	佐々木 蒼典	2年
27	岩本 翔太郎	1年
33	森木 優太	2年
38	東 煌明	2年
41	清水 瑛太	2年
43	川邊 斗蒼	2年
46	永田 鼓虎	1年
47	村岡 大己	1年
51	角正 晴一	1年
55	西川 漣	2年
63	佐々木 大我	1年

18 岐阜東ボーイズ

代表	津田 明春	
監督	足立 哲也	
コーチ	徳永 義弘	
マネージャー	牛丸 健	
27	主将 得能 壘	2年
1	横田 翔	2年
7	雲島 新	2年
15	岩田 晃征	2年
16	田丸 要	2年
17	鈴木 開智	1年
18	中村 栄太	2年
20	漆畑 利一	2年
21	安藤 聖悟	2年
23	田立 大翔	2年
24	岩田 佳祐	1年
30	小瀬木 千虎	1年
34	高島 悠生	2年
38	牛丸 想	2年
55	林 建匠	2年
77	臼田 圭吾	2年
88	奥村 瑛斗	2年

19 小松ボーイズ

代表	中山 晃一	
監督	高橋 宏之	
コーチ	奥村 知樹	
マネージャー	宮崎 太郎	
17	主将 宮浦 峻	2年
2	木村 隼大	2年
3	旭 隼	1年
8	村永 大晟	2年
10	瀬川 凜	2年
14	澤田 友樹	2年
20	大森 慧	2年
21	寺田 生冴	1年
23	山川 立稀	2年
25	筒井 翔太	2年
27	久保 蒼士郎	2年
41	岩倉 康大	2年
44	林 礼樹	2年
51	梶谷 愁弥	1年
52	濱田 明秀	2年
55	東方 恋治	2年
59	高島 将史	1年
61	中村 彪雅	1年
63	阿部 彪克	1年
87	奥田 晋之介	1年

20 三好東郷ボーイズ

代表	仲野 兼司	
監督	伊藤 貴生	
コーチ	杉田 好希	
マネージャー	坂巻 修平	
45	主将 野村 斗垂	2年
1	高野 哲平	2年
5	森 悠翔	2年
6	宗像 琉斗	1年
8	永田 絢斗	1年
10	加藤 幸輝	1年
11	橋本 拓人	1年
13	倉嶋 朔大	1年
14	井 優也	1年
15	加納 愛琉	1年
16	櫛田 泰也	1年
17	鈴木 郁馬	2年
19	久保田 成	1年
21	深野 瑛斗	1年
25	小栗 聡太	1年
26	大城 大和	1年
36	小林 奏太	2年
44	坂巻 星和	2年
46	荒木 智哉	1年
66	中村 飛勝	1年

21 四日市ボーイズ

代表	山田 晋也	
監督	九鬼 好博	
コーチ	伊藤 達也	
マネージャー	太田 正俊	
9	主将 小島 千治	2年
2	館 希竜	2年
5	南 菜治	2年
7	藤森 司	2年
10	高木 瑠希亜	2年
11	江口 輝	2年
12	市橋 永守	2年
13	川村 朔太郎	2年
15	平野 拓海	2年
19	後藤 暖人	2年
20	澤 秀真	2年
23	小林 英叶	2年
24	向井 峻真	2年
26	三谷 亮介	2年
27	林 光来	2年
30	山本 晃弘	2年
31	松崎 優夏矢	2年
32	津田 宗一郎	2年
33	野田 悠貴	1年
34	垣内 康誠	1年

22 島田ボーイズ

代表	山田 登	
監督	鈴木 亨	
コーチ	飛弾野 清治	
マネージャー	奥津 和長	
30	主将 片出 憲志	2年
1	加藤 琥大朗	2年
9	増田 太城	2年
10	鈴木 瑛介	1年
11	中川 瑛太	2年
16	増田 慧太郎	1年
18	鈴木 迅	2年
20	成岡 来翔	1年
22	長島 碧志	2年
23	植松 永途	2年
25	平野 光星	2年
26	辻村 聡太	1年
27	萩原 颯士	1年
36	大川 銀士	1年
39	中原 琥優	1年
41	見崎 賢汰	2年
42	田原 滉大	2年
44	加藤 旭陽	1年
51	野口 修吾	2年
52	二木 愛侑斗	1年
55		1年
56		1年
62		1年
66		1年
77		1年

23 名古屋北東ボーイズ

代表	林 日出夫	
監督	牧田 勉	
コーチ	富田 雄一	
マネージャー	伊藤 正人	
36	主将 大槻 兼士	2年
0	西原 叶琉	1年
1	山本 凱翔	1年
5	所 暖樹	1年
7	小山 寛太	1年
10	中根 彪人	1年
11	井村 龍了	1年
16	藤井 敬也	1年
17	清水 高輝	1年
20	木下 央介	2年
21	丹野 碧斗	2年
22	高田 鍊侍	1年
23	伊藤 舜太	2年
33	鈴木 大賀	2年
55	森河 音倭	2年
56	岡本 歩大	2年
81	小澤 玄	2年

24 下呂ボーイズ

代表	奥田 浩二	
監督	田口 泰久	
コーチ	丹羽 幸司	
マネージャー	松山 慎一	
6	主将 山下 昊斗	2年
0	田口 圭人	2年
1	砂畑 旺佑	2年
3	安江 健悟	2年
4	道下 獅洋	2年
7	松山 孟功	2年
14	長瀬 健祐	2年
16	田中 来琉	2年
17	熊崎 大志	2年
18	清水 康太郎	2年
22	二村 虎次郎	2年
24	小野 礼人	2年
26	新井 颯斗	2年
29	砂田 月陽	2年
33	船坂 参汰	2年
34	尾崎 楓河	2年
76	古内 颯汰	2年

中日スポーツ杯第18回日本少年野球中日本秋季大会 メンバー表

25 愛知豊橋ボーイズ

代表	渡辺 一史
監督	中野 哲伸
コーチ	富田 謙二
マネージャー	安黒 将司
16	主将 中立 大翔 2年
1	高橋 栄喜地 1年
3	竹内 紳之祐 2年
6	千田 颯人 1年
7	砂田 祥吾 2年
8	木下 夢翔 2年
9	菰田 大基 2年
11	田村 将輝 2年
12	寺島 賢太 2年
13	河合 健琉 2年
14	吉川 裕大 2年
15	天野 真緒 1年
17	白井 直弥 2年
18	川合 元気 2年
19	福井 那留 2年
20	磯谷 修汰 1年
21	福井 奏矢 2年
22	眞木 快理 2年
25	西土 遼汰朗 1年
27	森本 翔仁 2年
28	齋藤 光斗 1年
29	河合 真之介 2年
30	中村 泰知 2年
33	岩永 隼人 1年
51	奥村 快 1年

26 関ボーイズ

代表	小澤 淳二
監督	瀨瀬 芳伸
コーチ	奥田 陽介
マネージャー	神戸 友和
25	中島 匠翔 2年
0	山藤 瑠希 1年
1	長谷川 諒 2年
2	水野 朝陽 2年
4	犬飼 虹輝 2年
6	辻 光 1年
11	小倉 楓音 2年
13	山藤 綜一郎 2年
14	藤田 大輝 2年
18	丸山 歩高 2年
19	厚見 瑠叶 2年
20	塚原 純輝 1年
22	西田 有杜 2年
24	神戸 櫻介 2年
27	青木 翔太 2年
28	朝倉 愛斗 2年
32	吉村 快斗 2年
34	田中 大揮 2年
35	河野 善太 2年
44	溝口 翔大 2年
52	佐野 広 2年
55	林 拓海 1年
56	笹俣 龍世 2年

27 静岡府中ボーイズ

代表	熊切 大介
監督	望月 淳
コーチ	松永 康裕
マネージャー	大畑 真也
4	主将 望月 大和 2年
1	長谷川 聖輝 2年
2	池島 江之助 2年
3	成岡 紀漣 2年
5	森 奏喜 2年
6	松本 大輝 2年
7	柴田 大輝 2年
8	櫻木 瑠雅 2年
9	伊東 隼 2年
10	菊池 康生 2年
11	杉山 拓哉 2年
12	多田 龍代 2年
13	飯塚 玲翔 2年
14	西田 景虎 2年
15	森川 新大 2年
16	鳥羽 颯天 2年

28 福井ボーイズ

代表	高嶋 明博
監督	南 博介
コーチ	富田 清和
マネージャー	貴田 浩平
44	主将 奥谷 悠太 2年
3	後藤 勘太 2年
4	上野 直輝 2年
7	酒井 蒼太 2年
12	吉田 拓真 2年
15	細川 裕久 2年
16	前田 起希 2年
18	川村 峻介 2年
22	高山 信義 2年
24	南 陽太 2年
27	前田 尊人 1年
29	中谷 隼平 2年
51	坂部 幸翔 2年
62	天野 健琉 2年
63	二丹田 尊 2年
89	松倉 竜雅 2年

29 岐阜中濃ボーイズ

代表	宮部 恵介
監督	蛭川 由規
コーチ	小西 智也
マネージャー	山本 裕之
23	主将 和田 侑己 2年
1	大野 暖真 2年
2	佐伯 瑛斗 2年
3	石黒 朝日 1年
5	加藤 陽向 2年
6	山本 龍之介 2年
8	藤田 竜乃介 2年
11	水野 太耀 2年
12	伊藤 壮志 1年
15	高野 偉楓 2年
16	成瀬 鉄生 2年
17	加藤 大晟 2年
18	八重樫 湊 2年
24	高井 雅貴 2年
25	漆畑 宏星 1年
29	酒向 一志 1年
77	久保田 皇月 1年
91	宮澤 碧心 1年
92	山本 一心 1年
99	石原 幹斗 1年

30 愛知長久手ボーイズ

代表	小林 正俊
監督	赤間 大輝
コーチ	浅井 実
マネージャー	小栗 泰幸
18	主将 細川 陽平 2年
1	安藤 寛太 1年
3	西野 裕貴 2年
4	岡本 一路 2年
6	牧 龍之介 1年
8	小栗 大和 2年
9	古川 隼士 2年
17	與語 秀太 1年
19	山北 琉偉 1年
23	午脇 篤紀 2年
24	岩越 竜人 1年
25	杉本 朔弥 2年
31	山田 麗央 2年
34	安藤 聡汰 1年
51	小出 涼介 1年
55	勝濱 大地 2年
56	杉原 大河 1年
71	岡田 雄翔 1年

31 愛知名港ボーイズ

代表	友田 淳雄
監督	奥村 尚
コーチ	奥村 治
マネージャー	杉本 貴由之
5	主将 小吹 玲央 2年
0	林 造琉 2年
1	塩谷 凌久 2年
2	山崎 遥斗 2年
3	小川 仁之介 2年
6	小久保 颯弥 2年
7	西川 徠翔 2年
8	相良 龍信 2年
9	山崎 竜斗 2年
10	杉山 璃空 2年
11	犬飼 陽翔 2年
12	谷 煌希 2年
17	石黒 大心 2年
18	平野 結人 2年
23	吉田 匡佑 2年
32	藤井 臣太 2年
55	堀田 将大 2年
99	深尾 宇太郎 2年

32 伊勢志摩ボーイズ

代表	溝口 公二
監督	廣 肇
コーチ	笠原 正嗣
マネージャー	前田 美佳子
3	主将 坂本 夢斗 2年
1	二ノ宮 光平 2年
2	杉原 祥真 2年
5	吉田 大峨 2年
6	加藤 春馬 2年
8	井阪 倫太郎 2年
10	杉原 海誠 2年
16	杉本 涼輔 2年
17	井上 昊樹 2年
18	堂下 遼太 2年
19	小林 煌 1年
22	諸戸 万太郎 2年
23	中井 永琉 1年
31	一丸 春斗 2年
33	佐藤 伊万里 1年
34	中井 大峨 2年
39	高松 龍人 2年
41	中村 陽希 1年
51	脇葉 琉永 2年
61	島崎 斗輝 1年
62	加藤 斗空 1年
63	奥村 心 1年
64	佐藤 大介 1年
65	南家 理玖 1年

歴代優勝・準優勝チーム

優 勝

準 優 勝

第1回	2006	桑員ブルーナイン(三重県)	津ボーイズ(三重県)
第2回	2007	岐阜少年レッズ(岐阜県)	伊勢ジャガーズ(三重県)
第3回	2008	四日市トップエース(三重県)	中京エンペラーズ(愛知県西)
第4回	2009	鯖江ボーイズ(福井県)	菰野ボーイズ(三重県)
第5回	2010	大垣ボーイズ(岐阜県)	東海チャレンジャー(愛知県西)
第6回	2011	岐阜ビクトリーB(岐阜県)	ドリームス岐阜北B(岐阜県)
第7回	2012	鯖江ボーイズ(福井県)	岐阜ビクトリーB(岐阜県)
第8回	2013	東海ボーイズ(愛知県西)	関ボーイズ(岐阜県)
第9回	2014	岡崎中央ボーイズ(愛知県東)	岐阜青山ボーイズ(岐阜県)
第10回	2015	愛知小牧ボーイズ(愛知県西)	名古屋富士ボーイズ(愛知県西)
第11回	2016	浜松ボーイズ(静岡県)	東海中央ボーイズ(愛知県西)
第12回	2017	東海ボーイズ(愛知県西)	小松ボーイズ(北陸)
第13回	2018	東海中央ボーイズ(愛知中央)	西濃ボーイズ(岐阜県)
第14回	2019	伊勢志摩ボーイズ(三重県)	鯖江ボーイズ(福井県)
第15回	2020	愛知尾州ボーイズ(愛知県西)	福井中学ボーイズ(福井県)
第16回	2021	愛知豊橋ボーイズ(愛知県東)	四日市ボーイズ(三重県)
第17回	2022	東海中央ボーイズ(愛知中央)	愛知尾州ボーイズ(愛知県西)
第18回	2023		

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（各球場）

1 球場到着時

- (1) 試合開始1時間前に球場に到着すること。早く到着しないこと。
- (2) 本部への挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える。
チーム責任者は参加者を『新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿』等で管理し把握しておくこと。
チーム責任者は球場運営責任者の指示に従い対応する。(各会場により自治体から指導されている内容が異なるため)
- (3) 本部よりチーム責任者に消毒液等の設置場所を伝える。
- (4) マスクの着用は原則、個人の判断に委ねる。

2 球場入場時

- (1) 球場入場時にアルコール消毒を実施する。
- (2) 原則試合終了後に前試合の選手全員が退場しましたら、選手通路から間隔を空けて球場に入る。
道具についてはベンチ横に置いて試合開始準備を行う。
- (3) ベンチ内の役員、指導者、選手のマスク着用は原則、個人の判断に委ねる。
- (4) ベンチに入った時に一度、ソーシャルディスタンスの確認をする。(チーム責任者/指導者が確認する)
- (5) 第2試合目以降のチームについては、前試合の選手全員が退場するまでベンチに入らない。
- (6) 試合前審査は、横との距離を1m程度あけ整列して行う。但し、選手は氏名、生年月日を発声しないで、審査証を右手で見えるように審査者に向けて審査を受ける。

3 試合開始、試合中

- (1) 試合開始、終了の挨拶は対戦相手と2m以上あけてホーム前に整列し、声を出さずに礼をもって挨拶とする。
- (2) 捕手の防具は基本的に自ら装着する。時間短縮のため補助者を認めるが装着後、補助者は必ず手指の消毒をすること。
- (3) メガホンの使用や大声での指導、ハイタッチは禁止とする。
- (4) 飲み物は一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止とする。

4 試合終了後

- (1) 試合終了後は速やかにベンチを空け、各チームで責任を持って消毒用アルコールで消毒をする。
(その際に保護者の協力については可とする)
- (2) 試合終了後は密を避けるために、本部への挨拶は行わず、速やかに球場から解散する。
(ミーティング等を行わない)
なお、ダブルヘッダーで出場する場合は、球場責任者の指定する待機場所で、感染防止対策を講じて次の試合まで待機する。

5 球場スタンド・応援

- (1) 各会場の観戦ルールに従い、スタンドにおいても、ソーシャルディスタンスを確認すること。
- (2) ソーシャルディスタンス確保のため、スタンドでの応援の際はテント、タープ等の設置は厳禁とする。
- (3) 応援は控え選手、保護者共に大声での声援は禁止する。拍手等工夫を行う。
- (4) 試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃、消毒を行い、速やかに球場から移動を行う。
用具、消毒液等は各チームで用意する。

6 大会期間中、大会終了後

- (1) 大会期間中、選手またはチーム関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者が主催者に対して速やかに報告すること。

本大会を開催するにあたり、コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し、選手ならびにチーム関係者を感染から守り、大会に参加し野球ができることに感謝し、円滑な大会運営にご理解、ご協力をお願いいたします。